

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	アワコンスリック	(AC-4200 AC-4800R)
製品の名称		
供給者情報	ジェフコム株式会社	
会社名	〒579-9014 東大阪市中石切町3-13-16	
住所	品質課	
担当部署	072-988-3813	
電話番号	072-988-3800	
FAX番号	ケーブル等の入線潤滑	
推奨用途		

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性 エアゾール : 区分2

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告
危険有害性情報 可燃性エアゾール H223
高圧容器: 熱すると破裂のおそれ H229
注意書き 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。P210
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。P211
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。P251
日光から遮断し、50℃以上の温度に暴露しないこと。P410+P412

3. 組成、成分情報

単一製品混合物の区別	混合物		
化学名	含有量(wt%)	官報公示整理番号	CAS.No.
水	70以上	—	7732-18-5
ノルマルブタン	4.8	(2)-4	106-97-8
イソブタン	1.9	(2)-4	75-28-5
プロパン	3.7	(2)-3	74-98-6
ポリオキシエチレンラウ リルエーテル	0.8	(7)-97	3055-99-0

その他の成分は企業秘

4. 応急処置

目に入った場合 流水で十分に洗眼し、異常があれば医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 皮膚に付着した部分を石鹸で充分洗い、異常があれば医師の診察を受ける。
吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移して安静にさせ、不快感や呼吸困難などの障害が起
こった場合は、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 無理に吐き出させない。異常があれば医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 粉末、炭酸ガス等の消火剤を火元に放射、散布するなどして消火する。
泡消火剤等を用いて空気を遮断する方法も有効である。
エアゾール製品であり爆発する恐れがあるため、消火活動は十分に距離をとり、
風上から行う。
高温にさらされている製品は水をかけて冷却する。ただし、製品に水をかけたまま
放置するとサビて破裂する恐れがあるので冷却後早急に取り除くこと。
周辺の火災の場合は、速やかに製品を安全な場所に移動すること。

消火剤 粉末、炭酸ガス、泡

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	エアゾール製品であり、飛散により人体や目にかからないように注意すること。 屋内であれば換気を良くする。 作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しないよう注意すること。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。 危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取り扱うときに用いる全ての設備は接地する。 全ての発火源を速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	炎や火気の近くで使用しないこと 火の中に入れないこと 使い切って捨てること その他製品に明記の用途、注意事項を守ること
保管	高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たるところや火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと 水周りや湿気の多い場所に置かないこと 子供の手の届くところに置かないこと

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会 ACGIH	n-ブタン: 500ppm プロパン: 1000ppm (TLV-TWA) n-ブタン: 800ppm (TLV-TWA)
設備対策	特になし(屋内で大量に使用することは避けること)
保護具	必要に応じて呼吸用保護具
保護眼鏡	必要に応じてゴーグル
保護手袋	必要に応じてゴム手袋
保護衣	必要に応じて静電気防止機能付き

9. 物理的及び化学的性質

外観	白色エマルション(原液)
臭い	データなし
pH	10.0
融点、凝固点	データなし
沸点、初留点と沸点範囲	データなし
引火点	データなし
爆発範囲	下限 1.8% (噴射剤: ブタン) 上限 9.5% (噴射剤: プロパン)
蒸気圧	0.53MPa(25℃)
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重	1.000(原液)
溶解度	データなし
N-オクタノール /水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	データなし
反応性	酸化性: なし
避けるべき条件	高温への暴露
混触危険物質	容器が腐食するおそれがあるので、酸及びアルカリとの接触を避けること

11. 有害性情報

急性毒性	経口：区分外 経皮：区分外 吸入(ガス)：分類できない 吸入(蒸気)：区分外 吸入(粉塵、ミスト)：分類できない
皮膚腐食性/刺激性	：区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	：区分外
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：区分外
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：区分外
特定標的臓器(単回暴露)	：区分外
特定標的臓器(反復暴露)	：区分外
誤えん有害性	：区分外

12. 環境影響情報

水生環境有害性	短期(急性)：区分外 長期(慢性)：区分外
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	少量の場合：火気のない屋外でボタンを押し、噴射音が消えるまでガスを抜いてから捨てること
容器及び包装	大量の場合：許可を受けた廃棄物処理業者と契約を結び、廃棄処理を行う 地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う

14. 輸送上の注意

国連番号	1950
クラス	2.1
国際規制	海上規制情報：IMO規定に従う 航空規制情報：ICAO/IATAの規定に従う
国内規制	陸上規制情報：消防法、高圧ガス保安法に従う 海上規制情報：船舶安全法に従う 航空規制情報：航空法に従う
緊急時応急措置指針番号	126

15. 適用法令

高圧ガス保安法	エアゾール
消防法	非危険物 (LPGとしての保管量が300Kgを超える場合届出が必要)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(ノルマルブタン、イソブタン) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(ノルマルブタン、イソブタン) 危険物・引火性の物
化審法	優先評価化学物質(ポリオキシエチレンラウリルエーテル)
船舶安全法	危険物(高圧ガス)
航空法	高圧ガス

16. その他の情報

引用文献	各種原料SDS JIS Z 7253:2019 政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver.1.1)) http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/files/ghs/h25ver1.1jgov.pdf
本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保障値ではありません。	